



2014年 12月 16日
九州教区女性会 18期役員会

主の聖名を讃美いたします。

みなさまお一人お一人のうえによりクリスマスの喜びがありますよう祈りつつ、和田先生のメッセージ、長崎教会の声、地区集会報告をお届けいたします。

拡大会長会開会礼拝メッセージ

10月17日八幡教会にて拡大会長会が行われ、14教会29名の出席がありました。協議の詳細は別紙報告書を御覧下さい。



聖書：使徒言行録2章46節～47節
教会にとっての女性の会の働きは大きく感謝に絶えない。この会にとっても次代の宣教を考えることはむずかしい課題である。今日の聖書は、聖霊を受けた弟子たちの日々の礼拝の様子とその影響が書かれている。聖餐、愛餐を共に食し、賛美することで（…だから）「民衆全体から好意を寄せられた」。彼らはやがて「“霊”と知恵に満ちた評判の良い人」（同書6：3以下／青式文「教会役員就任式」

参照）を選び「神の言葉はますます広まり…信仰に入った」と記されていることは興味深い。私たちの身の回りの家族や友人、知人や施設などの方々に、証しとして映るような会とはどんな姿か。働きを顧み、悔い改め、初代教会の原点のみ言葉に聞きたいと願う。

長崎教会の声

10月26日長崎教会を訪問した際、「長崎教会は礼拝奉仕の方を求めています。また、長崎は平和を考えるにふさわしい場所です。キャンプや修養会に長崎教会を活用して下さい。」とお聞きし、より長崎教会の声を届けたく、長崎教会の池田照姉に原稿をお願いしました。

今、礼拝堂にアドベントクランツを飾りながらクリスマスになる事を、その年のことを思っています。四月から無牧になった長崎教会は九州の西にあり、信徒数も十名前後の小さなところですが、それでも、これまではどうにか牧師先生がいて毎週日曜日の礼拝にはみ言葉のとりつぎを必ず受けてきました。教会に牧師先生がおられなくなるということは毎週の説教も聞けなくなる！まずその事が私は一番心配になりました。そして月一回の聖餐式は受けられるようにしたい、信徒の中で四人が都合をつけ日曜日の当番を受け持ちました。九州からの牧師先生を月